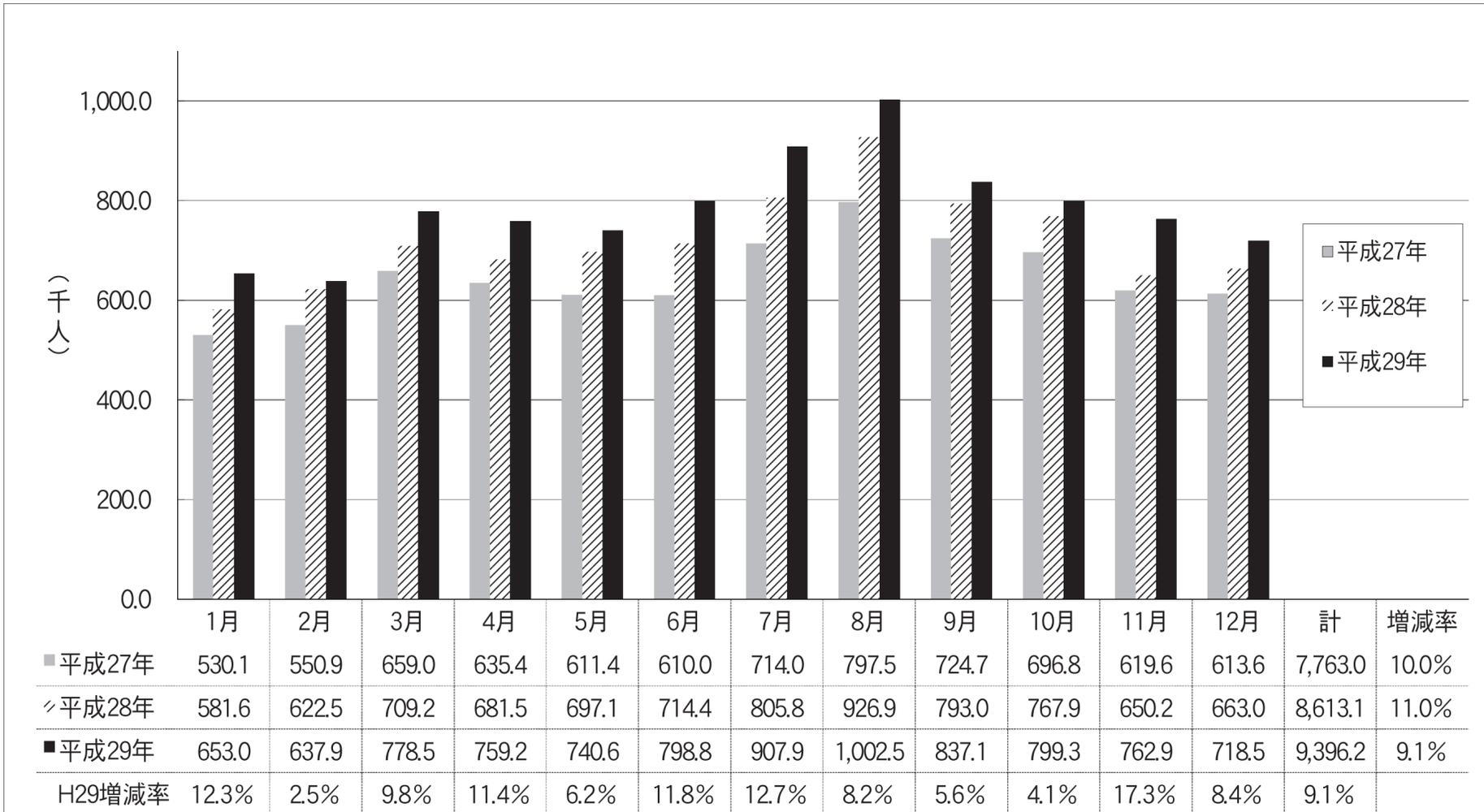


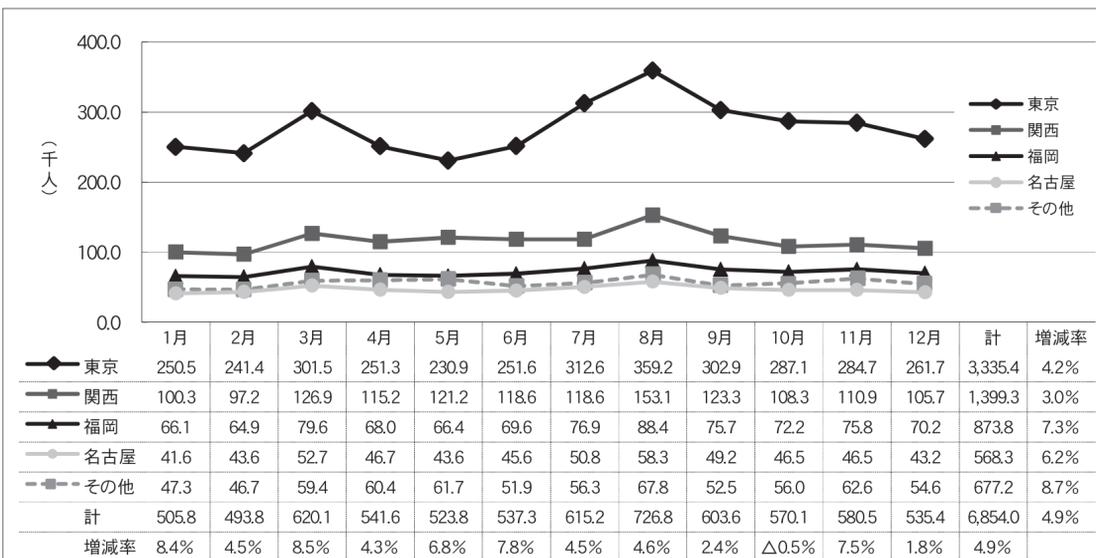
# 平成29年(暦年)沖縄県入域観光客

# 939万6200人、過去最高に

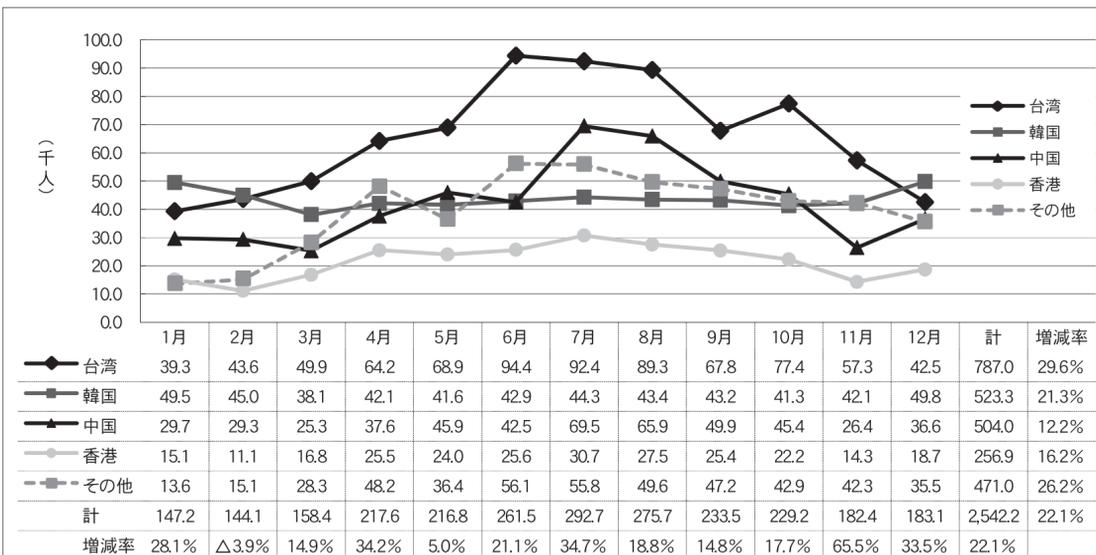
## ■月別入域観光客数の推移(平成27年～平成29年)



## ■平成29年(暦年)国内観光客の状況(方面別の月別推移)



## ■平成29年(暦年)外国人観光客の状況(方面別の月別推移)



沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課発表した「平成29年(暦年)沖縄県入域観光客統計概況」によると、同県の昨年1年間の観光客数は939万6200人で、過去最高となった。前年比で78万3000人、率にして9.1%の増加。初の900万人台を記録し、5年連続で過去最高を更新した。

増加の要因を県では「行政や民間が一体となったプロモーション活動により、沖縄の認知度向上や旅行意欲の喚起を図ったこと」「離島直行便など国内航空路線の拡充による国内客の増加」「東南アジア方面などの海外航空路線の拡充・クルーズ船寄港回数の増による外国客の増加」などが考えられるとしている。

月別では、1～12月の

## 前年比9.1%増 5年連続で過去最高更新

### 外国人観光客は22.1%増加

全月の前で前年を上回る。これまでの最高は平成28年(前年)の685万4千人。台風の影響があったものの、景気回復基調が続いて県では「景気が緩やかな回復基調にあること」が好調に推移した。名古屋や、各航空会社による航空路線拡充の動きがあること、国内観光地と、各離島への直行便の競合が想定されるものも好調だった。

◇ 外国人観光客は過去最高の254万2千人で、前年比で46万1000人、率にして22.1%の増加があり、空路客の入り込み増加が期待されること、クルーズ船の寄港にともなう増加も予想されていることなどから、沖縄発着航空路線の新規就航、既存路線の増便があり、空路客が増加した。

国内客は過去最高の685万4千人で、前年比で32万3千人、率にして4.9%の増加となった。

調査データ